【Release】

2016 年 11 月 17 日
公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
Web 広告研究会

第 4 回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表
『Web 人大賞』はナイアンティック社の 川島 優志氏・村井 説人氏が受賞

420 社が加盟(2016 年 10 月末現在)する公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会(所在地:東京都中央区銀座　代表幹事:田中　滋子)は、11 月 17 日(木)、第 4 回 Web グランプリ(http://award.wab.ne.jp/)の「Web 人部門」、Web 人大賞以下各賞の受賞者を審査の上、決定いたしました。贈賞式は来る 12 月 7 日(水)、八芳園(東京都港区白金台)にて、「第 4 回 Web グランプリ贈賞式」として開催いたします。

「Web 人」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及び Web 広告研究会幹事会で審議の結果、イングレスや『ポケモン GO』という位置情報を活用したリアルワールドゲームで世界中に一大ブームを巻き起こした、Niantic, Inc.の川島 優志氏、株式会社ナイアンティックの村井 説人氏が受賞いたしました。この他、審査委員会の審査で「Web 人賞」には日本マクドナルドの足立 光氏、日本コカ・コーラの豊浦 洋祐氏、ハコスコの藤井 直敬氏、文藝春秋の田中 裕士氏、ソフトバンクロボティクスの Pepper 及び日本アイ・ビー・エムの Watson、デジタルハリウッド STUDIO 福岡の高橋 政俊氏、AOI Pro.の隈本 遼平氏が受賞されました。(次ページに詳細)

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れた Web サイト、Web プロモーションにとどまらず、広くデジタルマーケティングの原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アウォード」から数えて今年で第 14 回目をむかえます。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。
https://award.wab.ne.jp/winner/gp03w

【第 4 回 Web グランプリ贈賞式開催概要】

■日時 2016 年 12 月 7 日（水）　（贈賞式）15：30-17：00
　　（贈賞パーティ）17：00-19：00

■場所：八芳園　〒108-8631　東京都港区白金台 1-1-1
　　http://www.happo-en.com/access/index.html
■参加申込は下記よりご覧ください（贈賞式参加は無料）
　　https://www.wab.ne.jp/wab_sites/contents/2457

◇この件に関するお問合せ

公益社団法人　日本アドバタイザーズ協会　Web 広告研究会
Web グランプリ事務局　受付時間:10:00～17:00＜平日のみ＞
TEL:03-3543-5855　e-mail:award-info@wab.ne.jp
お問合せフォーム　https://award.wab.ne.jp/inquiry/

【Release】

第 4 回 Web グランプリ　Web 人部門　受賞者一覧

（ http://award.wab.ne.jp/ ）

【Web 人大賞】

川島 優志（かわしま まさし）氏
（Niantic, Inc.）
村井 説人（むらい せつと）氏
（株式会社ナイアンティック）

（受賞理由）
川島氏と村井氏は、イングレスや『ポケモン GO』という位置情報を活用したリアルワールドゲームという新たな可能性を追求・啓発されてきました。特にイングレスにおけるローソンや伊藤園とのコラボを始めとし、『ポケモン GO』におけるマクドナルドとのコラボなどは、スマートフォンと連動した新たなデジタルマーケティングの可能性の扉を開いたことは間違いありません。また、最近でもイングレスや『ポケモン GO』を活用した被災地振興や地域振興の可能性も積極的に模索を続けておられることも高く評価され、今回の大賞受賞となりました

【Web 人賞】

足立 光（あだち ひかる）氏
（日本マクドナルド株式会社）

（受賞理由）
足立氏は、日本マクドナルドのマーケティング本部長に就任後、不振が続いていた同社の復活を象徴するような、様々なマスとデジタルを組み合わせた新たなマーケティング施策をリードされています。特にソーシャルメディア上での顧客のシェアを意識したギガビックマックや裏メニュー、怪盗ナゲッツ等の様々な施策はネット上でも大きな話題となった上、『ポケモン GO』とのコラボなど新たな取り組みにも積極的に取り組まれていたが高く評価され、今回の受賞となりました。

豊浦 洋祐（とようら ようすけ）氏
（日本コカ・コーラ株式会社）

（受賞理由）
豊浦氏は、デジタルマーケティングの責任者として、リアルタイムマーケティングへの取り組みや、「Coke ON」におけるスマホ自販機への取り組みなど、デジタルマーケティングの新しい可能性を追求され続けておられます。また、昨年のいろはすの新商品発売時には、マス広告展開前にデジタル側で様々な施策を実施することで、デジタル施策による新商品発売時の売上向上の貢献度を検証されるなど、デジタルの可能性を効果測定も含めて細かく実施されていることも高く評価され、今回の受賞となりました。

【Release】

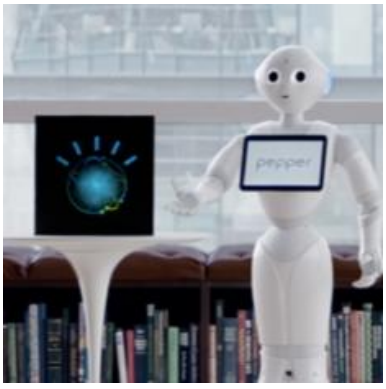
藤井 直敬（ふじい なおたか）氏
（株式会社ハコスコ）

（受賞理由）
日本における VR 普及のきっかけとなった、「ハコスコ（段ボール製の VR グラス、iPhone をはめこんで、専用のコンテンツを閲覧することで安価に VR コンテンツを楽しめる）」を開発した。企業とのコラボレーションも精力的に行っており、動画時代のマーケティングとも相まってムーブメントを起こした。

田中 裕士（たなか ひろし）氏
（株式会社文藝春秋）

（受賞理由）
田中氏は、文藝春秋における各メディアの取り組みのデジタル化を推進されてこられました。特に数年前から実施されていた週刊文春の様々なデジタル化推進のための積み重ねが、昨今文春砲という流行語に象徴されるような週刊文春の活躍の一因となっているのは明白です。また、昨年のプロモーション部長就任後は、従来の出版社のプロモーションの常識にとらわれない、動画やソーシャルメディアなどの様々なデジタルを組み合わせたプロモーションに取り組まれていることも高く評価され、今回の受賞となりました。

Pepper(ペッパー)
(ソフトバンクロボティクス株式会社)
IBM Watson(ワトソン)
(日本アイ・ビー・エム株式会社)



（受賞理由）
近年、応用分野の拡大が著しい AI の利用において、API を介して提供される IBM のコグニティブ・コンピューティング・システム Watson と多数の導入実績のあるソフトバンクの人型ロボット Pepper とのコ ラボレーションにより、技術的導入の敷居を下げ、親しみをもって提供することを可能にし、より幅広いユーザーへのアプローチを可能しました。

【Release】

髙橋 政俊（たかはし まさとし）氏
（デジタルハリウッド STUDIO 福岡）

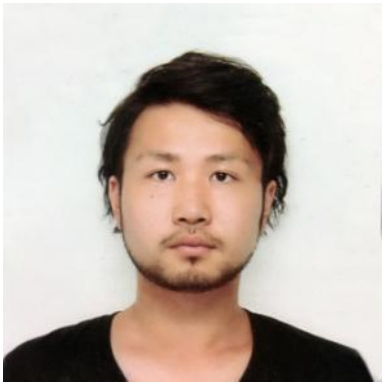
（受賞理由）

髙橋氏は、「地方で」「未経験の」「ママさんたち」を、Web デザインや制作のみならず、デジタルマーケティング施策によって企業のオンラインビジネスを成長させる「グロースハッカー」として教育する講座を開設しておられ、すでに第 2 期がスタートしています。

講座は、単に教育を行うだけでなく、実際に協力企業・組織のサイトを案件として受講生が「カイゼン」したり、修了後に仕事を請ける仕組みを Kaizen Platform 社などとの連携で提供したりと、受講生が現場で活躍できる環境を整えています。

サイト改善は、東京にいなくても、昼間に働けなくても、在宅でできる仕事であり、子育てで第一線を離れている女性でも活躍できます。そうした仕事を地方で子育て中のママさんたちができる組織「Mama Growth Hackerz」をつくることで、地方活性化と女性の活躍促進を具体的に進めている点が高く評価され、今回の受賞となりました。

隈本 遼平（くまもと りょうへい）氏
（株式会社 AOI Pro.）



（受賞理由）

スマートフォンが一般に大きく普及し、縦型の動画など新しい映像表現が生まれていた中でも、lyrical school の MV「RUN and RUN」は、見た人々に大きな驚きを与え、ネットで拡散され評判を呼び、新しいクリエイティブの可能性をさらに広げました。

【Release】

【資料 1】 Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。
過去 10 回開催し、これまで多くの「Web 人(ウェブジン)」を輩出してきた Web クリエーション・アウォード(Web 広告研究会主催)と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ(企業ウェブ・グランプリ主催)を統合し、2013 年を第1回として開催いたしました。今年が第 4 回となります。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく2つ
◆Web 人部門　　◆企業グランプリ部門
に分かれています。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アウォードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。
「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web 人賞選考委員会】
◇Web グランプリプロジェクトリーダー
田中 滋子(NEC、Web 広告研究会 代表幹事)
◇Web グランプリプロジェクト プロジェクトメンバー
長谷川 敦士(株式会社コンセント)
徳力 基彦(アジャイルメディア・ネットワーク株式会社)
平田 大治(シックス・アパート株式会社)
安田 英久(株式会社インプレス)

【Release】
【資料 2】

Web 広告研究会　について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、(社)日本広告主協会ディジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。（注:日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更）業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体（広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など）が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、 生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を10の委員会と5つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

＜委員会＞

- ・コーポレートブランド委員会
- ・モバイル委員会
- ・メディア委員会
- ・ネット・プロモーション委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・調査委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・West Web マーケティング委員会
- ・Big Data 研究委員会
- ・動画活用委員会

＜プロジェクト＞

- ・Web グランプリプロジェクト
- ・Web 人材育成プロジェクト
- ・東日本大震災・被災地支援プロジェクト
- ・PR プロジェクト

●会員社（2016 年 10 月 31 日現在）420 社
●代表幹事　 田中 滋子 （日本電気株式会社）
●事務所　〒104-0061　東京都中央区銀座 3-10-7　銀座東和ビル8階
●ホームページ　http://www.wab.ne.jp/